

社会福祉法人
ハスの実の家
6月号

2018年・NO. 456

ハスの実がまぐ

〒910-4103 福井県あわら市二重 87-26-2 TEL (0776)78-6743 FAX (0776)78-6744 Eメール honbu@hasunomine.com



これで
おちつ
さん

今日は
なにが
いい?

主な記事

2★すくらむ

3★なかまのページ メーデーに参加してきたよ!

4~5★特集記事: 2018年6月「変わる厨房」どうなる?
ハスの実の食事 これからもおいしいよ!!

6★家族のページ ~仲間家族のつながり~

7★職員のページ 林 弓未 松井 久和

8★交差点

★ハスの実の家からのお知らせ

9★わたしたちつながっています

10★ムーブ

11★物品深謝

★新職員紹介

12★おしらせ

★ご寄付深謝

★退職のお知らせ

★あとかぎ



あくらあ



「働きたい」が「稼げる人」とされること

国は障害福祉施策などにかかる費用を3年に一度見直します。これを「障害福祉サービス等報酬改定」といい、日々の支援に要する対価・報酬(1単位10円)を変更することです。改定年度によって「重点課題」や「改定の指針」があり、継続されたり強化されたりします。

改定年である今年、国は「報酬基本額」を全般に低く抑えた上で、複雑な加算(90を超える)減算(110を超える)を組み合わせることで前回の0.47%増であると強調しました。

しかしそれら改定の全容、とりわけ加算減算の中身は事業現場はもとより、市町、県においても未だもって周知されているようには思えません。加算減算すべてをクリアしなければ0.47%増どころか減額となってしまう仕組みです。今国会では度々数字の改ざんが取りざたされていますが、果たして強弁する0.47%増の根拠はどこにあるのでしょうか。国は4月〜6月の運営実態を調査、公表すべきです。

また今回、就労事業(ハスの実の家ではパン工房や菓子工房、農耕班)では「成果」という物差しが持ち込まれました。障害のある仲間たちへの工賃(給料)の平均額を7ランクに分けて、それによって報酬を決めるというものです。事業にとっても経営を左右する深刻な内容です。

しかし何より「働きたい」の実現ではなく、障害の重い人たちや、障害が故に一週間、一日と働くことが困難な人たちが、いわゆる「稼働率が低い人」、「稼げない人」とされ自身の狭い思いをしたり排除・選別されかねない制度設計に心からの悲しみと怒りを覚えます。

国は2006年施行した「障害者自立支援法」(現総合支援法)において、「自立」を「障害福祉サービスを使わないで済むようになること」とし、様々な競争による効率的で質の高いサービスを実現するとして営利企業の参入を本格的に進めてきました。今回の改定はこれらをさらに強化したものと捉えることができます。

とし、様々な競争による効率的で質の高いサービスを実現するとして営利企業の参入を本格的に進めてきました。今回の改定はこれらをさらに強化したものと捉えることができます。

「自立」とは重い障害があっても
その人がその人らしく地域や
社会の中でともに生き生きと働き、
住まうことだ思う。

ハスの実の常務理事 具谷 裕司

むずかしいことをわかりやすく
地域の人々とともに

「重い障害があっても、その人がその人らしく地域や社会の中でともにいきいきと働き、住まうこと」とこそが「自立」と学び、今も私たちの掲げるがない目標です。

厳しい現実だけでもむしろ楽観的にみんな大笑いしながら日々を過ごせたらなと思っています。いつも火の車の経営だけど一緒に手を携えて誰もが幸せだと思えるようになりたいと思っています。かつては行政も地域も社会全体がその素朴ともいえる目標にむかって一緒に努力して下さいました。それがよほど人間らしいと思っただけだと思えます。

しかし営利を目的とした「成果」(主義)は、人々の心を分断し他人事として孤立させます。「どうして利用料の1割くらい負担できないの?」「食事代くらい家においても必要でしょ?」

ともするとむずかしいこの様々な問いに私たちは悩みます。それでもわかりやすく誠実に答えましょう。年収が100万にも満たない障害のある仲間たちのくらしや労働を今一度伝えましょう。細やかな喜びや願いを伝えましょう。

今年、ハスの実の家は障害施策を改善する国会請願署名がはじめて13300筆を超えました。仲間も家族会も職員も一緒に取り組んだ署名の数は、あわら市に置き換えるともう少しで市民の2人に1人が応えてくださったこととなります。今回は街頭で学校で職場で本場にたくさんの方との会話が生まれました。たくさんの方の理解と激励の声をいただきました。

必ずまた政治が障害のある仲間たち、そして多くの人々の暮らしに寄り添う日々を取り戻せるのだと勇気と希望が湧いてくるのです。地域の人々とともに今あるのだと役割をより自覚しながら、嬉しくてしかたないのです。

昨年の7月に新聞寄稿された佛教大学教授横山壽一先生の「社会保障営利化は人権と対立」をいま改めて目の前のこととして読み噛み締めています。

ながの
ポード

今年のメーデーでは、9条改悪反対、8時間働けば暮らせる社会の実現、改ざんや隠ぺいによる政治の私物化を押し進める安倍政権の退陣を求めて、ハスの実の仲間連、職員は、働く仲間の一員として参加し、多くの職場と地域から集まった皆さんとともに取り組みを強めていく決意を固めました。

第89回 福井県中央メーデー



第89回 福井県中央メーデーに 参加してきましたよ！

5月1日



私もいきいき班で
お仕事頑張ってるよ！



働く仲間
楽しいー

おしごと
がんばるー





ハスの実の食事 これからもおいしいよ!!

ハスの実の家—変わるものと

変えてはならないもの—

厨房業務

ハスの実の家は創立当初より、家族的で安心安全な食事、行事には地域の方々や協力者の方々と共にご馳走を、仲間たちに近い台所、障害の重い仲間たちにも体感できる取り組みなど食を身近にということを大切にしてきました。この6月よりそのハスの実の家厨房が法人外にアウトソーシングするという形態に変わることになりました。このことでハスの実の家の「食」の何が変わり、また何が変わらず継承されていくのでしょうか。今月は仲間たちにも職員にも身近な「食」と「厨房の新しいあり方」を特集、取材してみました。

アウトソーシングで

どう変わる?

外部の会社が厨房業務を請負う（アウトソーシングする）ことで何が変わるのでしょうか。ハスの実の家だけでなくたく

さんの厨房を管理運営する会社は大量の食材を安く仕入れることが出来るでしょう。介護食、治療食などの特別食への対応も充分可能です。ただ行事やイベントにはどこまで対応できるでしょうか？仲間の要望や願いに答えてくれますか？改善して欲しいことがあれば真摯に対応してもらえますでしょうか？

2017年度より法人と栄養部は協議を重ね今後の厨房業務の在り方について検討してきました。その中でアウトソーシングの目的は、制度や働く場、生活の場の改編により進んだ「食と生活」の分断を取り戻したい。食前から食後までの流れを「仲間・職員ともにゆったりとした豊かな時間」にしたい。給食業務にかかる費用を適正化したい。安定的、継続的に厨房職員の人員を確保する。緊急時、災害時などにも対応できる給食体制を整えるなどでした。ただ経費を節約したいということではないわけです。これらの目的を考慮した上で選定されたのはイフスコヘルスケア株式会社（以下イフスコ）の高齢者施設、障害者施設での委託食事サービスでした。実際にイフスコのサービスを導入した施設を見学したり、イフスコの食事を試食してみたり、会社の理



花堂時代の家庭的な食卓



2018年6月 変わる厨房 どうなる？

念や実際の管理体制に至るまで子細に検討して選定したことでした。

実際にどんな変化が見られるかは始まってみないと、そして長く続けてみないとわからない部分も多いでしょう。個々の仲間への対応は支援職員の工夫や新厨房への要望を的確に伝えることも必要になるでしょう。幸い大多数のパートさんはイフスコへの再雇用を希望されて厨房に残ってくださるので安心感があります。今回の厨房のアウトソーシングにハスの実の家が期待するのは人材の安定確保を根拠に、これまでのハスの実の家栄養部の五十年余の実践を引き継いで展開していくことです。個人的に私はいままでの献立に負けないおいしい味付けを期待したいと思います。形や食感のあるミキサー食のゼリーや可愛くて色とりどりの食材など各世代の仲間にとって嬉しい要素も広がるでしょう。仲間や職員が厨房内に立入ることはこれまで以上に難しくなるかと思えます。でもその分、仲間がよりダイナミックに参加できる食の実践や独自活動をさらに充実させていくひとつのきっかけになったらいいですね。

（文責 坪田敏郎）

これからも心のこもった食事を！

栄養士 白崎 美樹

私がハスの実の家で栄養士として働き始めて、もうすぐ20年になります。この20年の間に、仲間の高齢化に伴い、食事形態もミキサー食からあらきざみ食まで、個別対応がとも増えました。そのような中でも、冒頭にも書いてあるように、「安心・安全で家庭的な食事。だしは昆布やかつおぶしから、なるべく国産のものを使い手作りで、仲間が作った野菜やパンを使う」これらのことを大切にしてきました。ですので、委託業者を選定した基準は、「引き続き農耕班の野菜、パン工場のパンを使用可能か、頂いた食材を献立に使用可能か、なるべく冷凍食品は使いたくない、だしはきちんとしてほしい」この条件を受け入れて下さったところにお願いしました。

6月から今まで大切にしてきたことはこれからも大切にしながら、提供する側・管理する側が協働して、仲間ひとりひとりにあった心のこもった食事を提供していきたいと思えます。



新厨房の初ランチ



家族のページ ～仲間家族のつながり～

無認可時代からハスの実の家も早52年の月日が経ちました。この間どのような思いで我が子・我が親の姿を見てきたのだろう。そしてこの先も親子共々年老いてゆく、別れも必ず来る。私たち職員もどのような形で支えていくことが出来るだろうか。

今回から家族のページでそれぞれの思いを語っていただく形でスタートしていきます。

第一回 「母とのおもいで」

竹内 紀美子さん

「おかあさんのおもいでのこと
としゆきさんときみこさんは、いまげんきでいることがかんしゃしています。
おかあさんは、きみこさんとベルにかいものにいきました。おかあさんは、きみこさんにはやさしいおかあさんでしたよ。そしておかあさんのおともだちがきまして、よくおはなししてなかよくしていました。
おかあさんはなくなってしまったけど、まいにちおかあさんのしゃしんにむかっておしゃべりをしているよ。」



(友歌里ホーム世話人) 多幡さんからの一言・・

「お母さんのお友達＝紀美子さんのお友達
お母さんが亡くなって兄弟二人きりになり、紀美子さんをきずかってくれていて、お手紙をくださっている人達が居るので私たち世話人もハスの実以外の知り合いが居ることで世界が広がって良い面もあると思っています。
これから少しでも自立に向かって頑張る紀美子さんの力になりたいです。
そしてすごく兄を大切にしている紀美子さんです。」



友歌里ホームの仲間たちと

お二人にインタビューして・・

大好きだったお母さんがお亡くなりになり、紀美子さんは喪主という大役を努められました。私たち職員も気丈に喪主をされている紀美子さんの姿を見て心をうたれました。お部屋には写真を置いて「毎日お話ししているんや」と笑顔でお話ししてくれました。この先兄(としゆきさん)と共に元気で頑張ってほしいです。

世話人多幡さんも「紀美子さんの頑張っている姿をこれからも応援していくよ」とほほえましく語ってくれました。

(インタビュアー：河野)



職員のページ

【所属】生活介護事業 のびのび広場

生活支援員 林 弓未



『支えられて、寄り添って』

ハスの実に入職して、今年で3年目の春を迎えました。

入職した当時は、慣れない環境や体験したことのない職種ということもあり、不安でいっぱいでした。しかし、仲間たちはありのままに接してくれ、人と接することが苦手だった私も、思ったより早く仲間や職員と打ち解けて話すことができるようになりました。仲間たちは今も、こちらが焦っているときは「落ち着いて!」、少し体調を崩したときは「大丈夫?」と声をかけてくれたりします。そんな一言や、とりとめもない出来事に元気ももらったり癒されたりと、仲間にもいつも支えられています。いつも私を支えてくれる仲間に対し、少しでも力になれるように、これからも仲間に寄り添った支援を心掛けていきたいです。



【所属】生活介護事業 のびのび広場

生活支援員 松井 久和



自分の喜び

ハスの実の家に入職してから1年と数カ月が経ちました。何かの縁があっただけか、友人に誘われて、ハスの実で支援員をすることになりました。初めは一般的な施設とは違うこともあり、戸惑うことも多かったですが、随分、施設になじんできたと思います。ハスの実では苦労もありますが、楽しいこともあります。それは仲間が少しずつ成長していく姿を見れることです。のびのび班のTさんがよく手伝いをされるようになって来たとか、いきいき班のOさんがポンポンを振って体操ができたこととか、はつらつ班のSさんが落ち着いた行動が徐々にできるようになって来たことなど。なかなかすぐにはできるようになるものではありませんが、根気よく、楽しく、体を使って一緒にやっていると、ゆっくりではありますが、成長した姿を見れる時があります。それが大きな自分の喜びであります。本人自身も楽しいのではないかと思います。

今後とも一人ひとりの成長できる部分を見つけ、伸ばしていけたらいいと思います。また、仲間達の純粋な笑顔に触れることで、自分も何かを頂き、成長させられているのかもしれないと思います。

交差点 後援会

パン工房創業祭(9/15)に向けて

6月5日、運営委員会を開き、9月15日(土)に予定されているパン工房創業祭に合わせてミニバザーを開催することを決めました。今回のミニバザーはミニよりも少し大きな規模にしたいと考えており、会員の皆様には物品の提供およびお知り合いへの物品提供の声掛けなどをお願いしたいと思います。(早ければ早いほど助かります)



これまでのミニバザーの様子



バザーの物品の例

- お家で使っていない日用品や衣類
- いただきもので使っていない食器
- まだ使えるけど家ではもう使わないもの

お持ちいただく時間が無い方は電話でご相談ください。たくさん集まるようご協力をお願いします。

(電話 0776-78-6743 (ハスの実の家))



福井しあわせ元気国体2018 福井しあわせ元気大会2018

福井県 障がい者スポーツ大会 福井県障害者スポーツ大会 障がい者スポーツ大会 障がい者スポーツ大会 障がい者スポーツ大会

9月29日から10月15日にかけて、県内各市町を会場に、国体および障害者スポーツ大会が開催されます。

今回、初めて国体開催期間中に一部の障害者スポーツ大会の競技が行われます。観戦や大会ボランティアへの参加等を通じて、大会を盛り上げていきましょう。

昭和43年の福井国体開会式



ハスの実の家からのお知らせ

2018年度ハスの実の家 実践報告会

1. と き：2018年7月21日(土) 10:00～16:00
2. ところ：福井県国際交流会館(福井市宝永3丁目1-1)

障害のある人達を「くらす」「はたらく」「ささえる」など、様々な側面から支えている私たちの事業、「実践」に視点をあて、振り返る機会にしたいと思います。その際、障害特性だけに目を奪われず、仲間たちはどんな「ねがい」を持っているのか、「人として生きる」ことを大切に実践が取り組まれてきたのか、を考えていきます。今回の実践報告会では、日頃私たちを支援してくださる皆様にも参加を呼びかけ、忌憚のないご意見を頂き、ともに「ねがい」を大切にしたい実践について考えたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見・ご感想お待ちしております。

0776-78-6743 (ハスの実の家)

hasukouenkai@yahoo.co.jp

わたしたち美味しいお菓子でつながっています

今回はハスの実菓子工房の焼き菓子を委託販売して頂いている
田嶋牧場のソフトクリーム屋店長 田嶋 恵子さんにお話をお聞きしました。

1. 出会いはいつですか？

ソフトクリームのお店を始める時にハスの実さんが「一緒にクッキーを置かせてもらえませんか？」と尋ねて来られたのが出会いです。お店が出来て16年目になります。長いお付き合いになりますね。

2. 印象に残っている出来事は？

地域の農家さんの集まり、花野米(はなのまい)レディースのセントピアあわらさんでのイベントで、ハスの実さんとご一緒した時に利用者の皆さんが一生懸命販売している姿がとても印象的でした。最近、パン工房にもパンを買いに行かせてもらっていますがパンも美味しく、パンのみなさんも感じが良いです。

3. 最近気になっている事など。

最近ボタン一つで簡単に物事が進んでしまっていて人と人とのつながりが少なくなっている気がします。コミュニケーション不足も心配です。もっと身体を動かして心もからだも元気になりましょう!! 農業に興味を持つ人が増えてくれるのを期待して徴兵制度ならぬ“徴農制度”が出来るといいのになあ~と思います。



田嶋牧場のソフトクリーム屋

牧場の新鮮な牛乳と
つめた あじり味のソフトクリーム

場所 あわら市国影フルーツライン沿い
(安養院浄苑駐車場)

営業時間 10:00 ~ 17:00
(3月15日~11月頃)

定休日 水曜日

田嶋恵子のコメント

大人気の人参ソフトいただきました。あま~い!!
美味しいっ。色もきれい。人参嫌いなお子様も大丈夫。
ぜったい人参大好き♡になりますよ。次も絶対人参ソフトです!!

継続会員・新入会員お名前

4・5月度

*印は新入会員です。順不同、敬称略。

あわら市 伊藤義信・鈴木紀子・米村卓治・橋川久仁子・鹿島政彦・斉藤和子・
山口光治・渡辺義孝・小泉昭彦・吉田貴一・北嶋まり子・渡藤望・
竹藤紀久子・西山政信*中野久夫

福井市 庄野康子・近藤真紀子・野口康義・桑野廣子・上坂鈴子・上坂勇・
牧野朋子・中島俊男・篤川勝彦・堀邦義・平田英樹・西田みち子・
尾田信一・河田静江・平田信子・*菊地寛子・*藤田睦子・
*鳴海賢昌・*西吉秋・*岩崎一広・*西本雅人・中村義勝・中村禮子

坂井市 斉藤輝美・吉川悦子・内田利勝・池崎幸枝・山口昌宏・竹内照男・
塩崎達男・斉藤奈生美・八十島秀昭・斉藤道広・清水三恵子・
野坂れい子*佐藤歩・伊藤新一・畑本芳美・リビングいづみ・常廣静枝・
松本順雄・市橋由紀恵・杉山薫・浜内清隆・中川正道・高倉千賀子・
広浜洋子・近藤弘美・近藤益子・*新家秀一・*原田明夫・*三宅小百合

鯖江市 田中美智子・
*近藤弥生

石川県 坂井正喜

滋賀県 川瀬とし江

京都府 野坂麻美己

神奈川県 伊藤彰徳

大阪府 小林保太

愛知県 *新美綾子・
*櫻井宏昭

みなさんの“声”をとどけに…



5月23・24日に、第41回きょうされん全国総会と国会請願行動へ参加してきました。

きょうされん総会に参加して

二〇一八年五月二十三日(きょうされん第四十一回総会)に、翌二十四日に国会請願行動に、ハスの実の家からは利用者の平田さん、具谷、南、橋高、田嶋、堅達、白崎の七名で参加してきました。

今年度のきょうされん方針やビジョン二〇二二が皆さんで検討され、会場からは生活保護のこと、浅田裁判のこと、法人課税問題のこと、支部結成(静岡支部)のことなど盛りだくさんの内容が会場から発言がありました。

全国で様々な課題等がありますが、ビジョン二〇二二に書かれているように「地域から信頼されるきょうされん」を目指していきたいと思えます。(白崎)

初めて参加させていただきました。総会では、憲法改正の今後の展開と社会保障や社会福祉の切り下げの動向、被災地の実情、ビジョン二〇二二の目標や課題の確認、全国大会の成功や一年間の活動計画について語り合い確認しました。私自身、何も分からないままの参加でしたが、仲間たちの熱い想いや請願行動の大切さを感じる事ができ、これからも頑張っていこうと思えました。(橋高)

今回初めて総会に参加させて頂きました。最初に映画「夜明け前に」という呉秀三さんの映画を拝見し、今でも問題となっている身体拘束や監禁問題に対して一〇〇年も前に禁止、調査を行った事にとっても素晴らしいと感じました。全体討論では人員不足や賃金の低さ等、何より利用者の方から「法律が変わるので変わらないで欲しい、戦争をしないで欲しい」と真剣な訴えを聞きました。この総会に参加でき自分の考えや思いが変わることが出来た事に嬉しく思います。(田嶋)

この半年の行動を国会へ

約十五年ぶりに国会請願行動に参加しました。当日は全国から四二〇人も利用者・家族・支援者が集まり、地元国会議員へきょうされん第四十一回国会請願署名の紹介議員になつていただけようお願いにまわりました。ぜひ私たちの声を聞いてほしい！と事前打ち合わせをしてのぞみましたが、あいにく「働き方改革」等重要な法案が目白押しで不在議員が多い状態でした。しかし短時間でも移動直前に受け取ってくださった議員。また不在でありながらも、もつとくわしく知りたいと後日連絡をくださった議員と、福井に戻ったあとも動きはまだ続いていきます。政党懇談では、報酬改定での成果(主義)の導入について全国の利用者・家族・支援者の悲痛な声を一緒に訴えてきました。(麗)



国会議員の事務所を何件か訪問しましたが、直接議員と対談できたのは一人だけで、あとは秘書対応でした。その後、二人の議員さんときょうされん関係者約三十人による政党懇談会に参加しました。「グループホームを建設したが、人手不足のために開所することができない」、「報酬改定が複雑すぎて実務が多く仲間と話す時間が無い。」など、全国の事務所から現状の厳しさを感じました。請願活動は四十二年間続けているもので、ここ六

年間は署名数が百万筆を超えています。しかし、日本の福祉政策は改善するどころか、報酬改定により苦しくなる一方です。この活動が利用者・職員の未来を握っているものであり、運動の大切さを今まで以上に感じました。

今回ハスの実の家が集めた署名数が全国的にも多かったため、利用者部会での取り組みを平田優作さん、ハスの実内での取り組みを堅達が請願活動前に報告させて頂きました。大勢の前で堂々と発表する平田さんの姿はいつも以上に頼もしく見えました。(堅達)

利用者部会の代表として



五月二十四日、堅達さんと一緒に、国会請願の署名の話の前に出ました。

衆議院二ヶ所、参議院一ヶ所を回りながら、福井県の与野党の国会議員を訪問しました。通行証は建物に入りまするたびに外したり付けたりで忙しかつたです。

僕はもつと給料が欲しいのですが、今の制度では給料の保障がありません。休む日を少なくして、年末年始・GW・お盆休みも仕事したいです。

平田優作



物品深謝

4・5月

趣不同お許しください

山本美幸様、タキダエンタープライズ様、
新田賢治様、渡邊研至様



ご寄付深謝

4・5月

趣不同お許しください

ハスの実の家

日元久勝様、平田信子様、渡邊研至様、木村亮様

1,068,500 円

ハスの実の会(後援会)

黒川清和様、玉森一ノ様、大門動物病院様、
常廣静枝様、鹿島政彦様、内田利勝様、

7,000 円

新職員紹介



所属 就労継続支援B型事業

ハスの実パン工房

植原 哲平

ハスの実パン工房の植原です。

まだまだ未熟な事も多くご迷惑をかけると思いますが、天谷調理製菓専門学校で学んだことを少しでも活かせるようがんばっていきたいです。また仲間達の事も理解し学んでいきたいです。

これからよろしくお願ひします。

退職のお知らせ

看護師 山本 美幸

調理員 鹿島 温子

調理員 小浜 淑子

調理員 松永 峰子



イフスコヘルスケア株式会社の社員として、引き続きハスの実厨房にて勤務されます。今後ともよろしくお願ひ致します。

～職員氏名誤記載のお詫びと訂正～

4月号7P 職員のページ氏名の記載に誤りがありました。
東 昂佑さん (誤) 昂 → (正) 昂に訂正いたします。

新車両のお知らせ



ヘルパーステーション「ともに」
に新しい車が入りました。
車イス対応車も増えました。
利用者に乗せて今日も街中へとび
だします！

5月の末から行われたハスの実パン工房の感謝祭イベントは大盛況に終わりました。イベントの一つにお客様とのじゃんけんゲームがありました。最初は上手く出来なかつたり、戸惑ってしまつたり、逃げ出しそうになる仲間もいましたが、自分から「じゃんけんの練習をする」と言って職員と練習をしたり、回を重ねるにつれて自信をつけていく仲間を見たり、今回のイベントでまた一つ成長した仲間の姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

次回もまた、お客様はもちろんのこと、仲間にとっても楽しいイベントを皆で考えていきたいです。



山田 有香

社会福祉法人 ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「ハッピー」
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4
電話・FAX(0776)77-7282
 - *「すまいる」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-2
電話・FAX(0776)73-2444
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目 4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目 15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「はさだ」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-1
電話(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目 608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
携帯 090-8965-2347
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

スタッフ急募!

障害のある仲間たちへの
支援をするお仕事です。

◇「ヘルパーステーション ともに」(あわら市二面)

- 募集人数 ①ホームヘルパー 3名(パート)
②移動支援 余暇支援スタッフ3名(パート)
障害のある方や高齢者の在宅での様々な支援サービスです。
◆①② 7:00~21:00の間で相談 朝だけ夕方だけ可
時給 1,030円 土日勤務手当 通勤手当
資格 ①ホームヘルパー2級以上

◇生活支援スタッフ

- ①あわら市二面
②あわら市上番・大溝 三田町米ヶ脇
③あわら市市姫
募集人数 5名
グループホームでの生活支援をするお仕事です。
(食事準備、入浴・就寝支援、余暇支援ほか)
◆①③ 16:00~10:00 [③ 9:30]
(夜間支援) 週2日程度
② 16:00~9:00
(宿直支援) 週2日程度
①③ 1勤務 15,360円以上
② 1勤務 9,770円以上 他通勤手当
資格 ホームヘルパー2級あればなおまし

◇生活介護事業(あわら市二面)

- 募集人数 ①作業療法士(臨時職員) 1名
◆9:00~16:00(休憩45分)
休日は施設カレンダーによる
①時給 1,300円~ 通勤手当

◇学生アルバイト(18歳以上)

- ⇒福祉・保育・医療等を学ぶ学生さん優遇
日中支援 生活支援 夜間支援 外出支援
時給 1,000円~(勤務時間柔軟に対応します)

平成31年度 新規学卒者職員募集(正規職員)
(高校、短大、専門学校、大学)

◇生活支援員(グループホーム生活支援 日中活動支援等) 若干名

まずは
お電話
ください。

TEL 0776-78-6743(担当:具谷、橋本)
社会福祉法人 ハスの実の家
〒910-4103 あわら市二面87号26番2
E-mail: honbu@hasunominoie.com

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

